


# 独立行政法人統計センター 第2期中期目標期間の業務実績に係る評価(案) (概要)

平成25年7月29日

 総務省統計局  
Statistics Japan

# 統計センターの第2期中期目標期間業績評価の概要

## 1. 評価結果の概要

### (1) 業務運営の効率化

ABC/ABMを基礎とした業務マネジメントやTQCの実施、トータルコスト把握に取組み、民間委託やICTの活用などで成果をあげるとともに、経常調査等に係る関係業務経費・一般管理費、及び常勤役員数についても削減目標を上回るなど、所期の目標は十分に達成されている。

### (2) 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

各種統計調査の製表業務について、納期・品質の両面で委託者の要求を満たす製表結果等が提供されており、東日本大震災に係る対応についても柔軟、迅速に取り組んでいる。また、政府共同利用システムの運用管理や二次的利用に係る業務、技術研究についても、適切、順調に実施されており、所期の目標は十分に達成されている。

### (3) 財務内容の改善

削減目標を上回るなど、適正な財務管理という所期の目標は十分に達成されている。

### (4) その他

内部統制、リスクへの対応、人事計画の実施などについても、所期の目標は十分に達成されている。

項目別評価	AA	A	B	C	D
1 業務運営の効率化	2	2			
2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	7	24			
3 財務内容の改善		2			
4 その他		3			

【参考】 AA:中期目標を大幅に上回って達成 A:中期目標を十分達成 B:中期目標を概ね達成  
C:中期目標をある程度達成しているが改善の余地がある D:中期目標を下回っており大幅な改善が必要

## 2. 全体的評価結果の概要

- ・項目別評価を総合すると、中期計画を十分に達成したものと認められる。

業務経費及び一般管理費の削減や、常勤役職員数、業務・システムの最適化計画の実施など、目標を上回って達成している。また、各種統計調査の製表業務について、適切な結果提供が行われており、技術研究においても、これまでの研究成果の実用化における効果があがっている。その他、情報セキュリティ対策や危機管理等についても着実に進められている。

## 3. 業務運営の改善その他の提言等

- ・新たな中期目標期間では、公的統計が「社会の情報基盤としての統計」としての役割を十分に果たすことができるよう、中央統計機関の一翼として、公的統計制度の基盤となる役割を担い、その政策実現機能が最大限に発揮され、国民からの信頼を確保し得るものとする必要がある。
- ・総務省等と密接に連携し、正確で質の高い公的統計の作成と新たな価値を創造する有用なサービス提供を展開するとともに、技術等の業務への適用、民間委託やICTの活用、職員の専門性の向上と中核的業務への重点配置等により、業務運営の効率化・高度化への取組が望まれる。